



またかた

よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.46

平成30年
2月1日号



サンタさんプレゼントありがとう



★塩川支所★



★山都支所★



★山都支所★



★本所★



12月は、本所・支所のおもちゃ図書館でクリスマス会を行いました。サンタクロースの登場を、みんな楽しみに待っていました...

あらあら、びっくりして泣いてしまったおともだちもいました。

でも、プレゼントをもらって最後はみんなでハイチーズ☆
楽しいクリスマス会になりました。



● 主な内容 ●

- 第13回喜多方市社会福祉大会
表彰・ちいさなて優秀作品 2~5
- ふれあいだより・陶芸教室会員募集 6~7
- 共同募金・歳末たすけあい募金御礼 8
- よらんしょネット・生活サポートセンター 9
- 各事業実施報告他 10
- 寄付報告 11
- 在宅介護教室のご案内・活動センター会員募集
・センター展のお知らせ 12

喜多方市社会福祉協議会公式
facebook



児童・生徒の福祉作文集

「ちいさなて」優秀作品のご紹介

喜多方市社会福祉協議会では、次世代を担う児童・生徒の皆さんの福祉への理解と関心更にボランティア精神を育むため、市内の小中学校をボランティア活動普及事業協力校として指定し、学校ごとに行われる福祉教育を支援しています。

こうした学校のボランティアや福祉活動、地域や家庭での福祉体験をとおして、日頃から感じていることなどを子どもたちの目線で綴った福祉作文をまとめ、児童・生徒の福祉作文集「ちいさなて」として発刊しております。

以下の作文五点は、前ページで紹介しましたとおり平成29年度の「ちいさなて」の応募の中から、優秀作品として第13回喜多方市社会福祉大会の席上で発表されたものです。



小学生の部 優秀作品

「さくらんぼの会」の

活動を通して



喜多方市立第一小学校
六年 藤井 優夏

わたしたち六年生は、卒業した六年生から様々なことを引き継ぎました。委員会の委員長の仕事やクラブ活動の部長など、学校全体の代表となる仕事が増え、みんなと増えました。その中の一つとして、一小の伝統である「さくらんぼの会」があります。それは、六年生と二年生がペアになって活動するものです。ペアでいろいろな活動をする中で、一年生が一日でも早く学校生活になれるようにお手伝いをしていきます。

四月、一年生は入学したばかりで、何も分からなくて、おどおどしている子がたくさんいました。わたしたちの仕事は、一年生の教室に行き、朝の準備を手伝い、ロッカールの使い方や机の中の整理の仕方などを教えることです。わたしたちにとってはあたり前のように行ってきたことだったので、「教える」という実感がなかなかあまりわかず、苦労をしました。例えば、わたしは一年生に、「連絡帳は、先生の机の上に置いてきてね。」

と伝えたところ、一年生は、「先生の机？」

と聞き返してきました。この時わたしは、まだ、一年生の気持ちになってあげられてない

ことに気付きました。それからは、言葉で伝えるだけでなく、一緒にその場所まで行って教えるようにしました。ふだん、小さい子と接する機会がほとんどないわたしは、戸惑いながらでしたが、わたしがやることをまねしながら一生懸命がんばっている一年生を見て、「かわいいなあ」と思いました。五月までの一ヶ月間毎日一年生の教室に通ったことで、とても仲良くなり、弟や妹ができたような感じがするようになりました。

夏を迎え、プールの授業が始まりました。一年生の初めてのプールを六年生がお手伝いすることになりました。一年生をおんぶしながら、プールに入るのは予想以上に大変でしたが、ぎゅっと力を込めてわたしの背中にびったりとくっついて一年生が、いとおしく思えました。わたしを信じてくれていると感じたからです。背中越しに喜んでいる声が聞こえてくると、とてもうれしかったです。

これらの活動を通して、名前を覚えてもらい、ろつ下で会ったときに手をふってくれたり、名前を呼んでもらったりと、一年生からわたしたちが優しい気持ちをもらうことができました。また、自分たちが教えたことがどんどんできるようになる一年生を見ると、うれしい気持ちになりました。

頼りにされる六年生を目指して、これからも「さくらんぼの会」の活動を頑張っていきたいと思います。

市のイベントボランティア

に参加して



喜多方市立豊川小学校
六年 立川 葵

「二十一世紀シアターのボランティア募集」

五年生のとき学校で配られたおたよりを見たときは、特に興味はなかった。となりの席の友達から、

「ボランティアに参加してみない。」

とさそわれて、よくおたよりを見たら下の方に「一日五時間以上の参加で五百円」と書いてあった。それで、ぼくはお金めあてで、気軽に参加することにした。

ボランティア一日目。喜多方プラザにむねをわくわくドキドキさせながら入った。すると、さそってくれた友達がボランティアのことを教えてくれた。そして、背中に「二十一世紀シアター」と書かれた黄色いTシャツをもらった。そのTシャツを着ると、ボランティアの一員としてちゃんとできるかなと不安になった。その日やることは、二十一世紀シアターのせん伝のために市内のたくさん人が来る場所にのぼりを立てることだった。

そして二日目。前の日の続きでのぼりを立てることになった。その日はとても暑くのぼりを持つことすら大変だったが、福島民報の方が写真をとりに来て、なんとソフトクリームをおごってくれた。そのソフト

クリームのおかげで元気も出て、残りもがんばってやることができた。

そしてボランティア三日目。この日は赤ちゃんや幼稚園生むけの芸の照明係をたんと当した。公演一回目は、少しおくれて照明をつけて失敗してしまった。タイミングがずれてしまったと反省した。そして、失敗したらダメになってしまう公演二回目は、何とかタイミングを合わせて照明をつけることができた。そして公演が終わり後かたづけをした後に友達のやっているところへ行行って手伝いをした。そして午後は、ほくも友達も忍者の公演の手伝いをするこにした。忍者の公演では、ほくと友達が遊びのやり方のお手本をやったり、小さい子たちが安全にできるようにと見守る係もやったりした。

そして最終日のボランティア四日目。後かたづけの日でかべにはったポスターやかざりざやテーブルをかたづけた。準備するよりもかたづける方が力仕事が多くて大変だった。

去年やったようにたくさんの方の仕事をやるのは大変だった。だが、仕事をやりとげた後は達成感が出てきた。やる前までは、仕事は全て一人でやっていたことが多かったけれど、ボランティア活動の後には、協力してやる方が多くなり成長を感じた。また、この「二十一世紀シアター」のボランティアに参加したい。

募金活動を通して



喜多方市立塩川小学校
六年 目黒 楓香

私は、運営委員会に入っている。募金

活動を通して人々の役に立ちたいと思い、運営委員会に入った。自分たちが震災にあった時、いろいろな地方からの募金が届き、その恩返しをしたいと思った。

今年七月、九州北部豪雨が発生した。この集中豪雨でおよそ四十人もの人々の命がうばわれ、住宅全壊数およそ二百件、住宅半壊数およそ六百件という被害もあった。自分たちと同じぐらい苦しい思いをしていると思うとむねがいたんだ。

委員会の日。委員長が九州北部豪雨の募金活動を提案した。その提案に対してみんなは賛成してくれた。みんなの声を聞いて私は思った。「もしも、あの時、東日本大震災が起こらなかつたら、みんなこんなことが言えていたのだろうか。」と。私たちが震災で困っていた時、九州地方の人たちも、募金をしてくれた。私は今でも感謝している。あの時、自然災害のこわさを経験したからこそ、今、ようやく役に立てるのだと思った。

数日後、募金活動が始まった。期間は、三日間。私は、毎日、積極的に各クラスを回った。たくさんの方が募金に協力し

てくれた。私は、協力してくれた人、一人一人にお礼をした。徐々に募金箱の重みを感じられる。重みを感じるたびにうれしくなった。重ければ重いほど復興へ向けてのみんなの願いが強いと言っただからである。全クラスのみんが九州北部豪雨に対して考えていることは、同じなんだと思った。

数日後の休み時間。集計した結果、二万円以上の募金が集まり、その募金を近くの郵便局に届けに行った。郵便局長さんに募金を預け、委員長、副委員長、私の三人で、

「よろしくおねがいします。」とあいさつもした。少しでも何かの役に立てればと思っっている。

私は、募金活動を通して、協力することの大切さを学んだ。顔や名前が知らない人でも、協力して支え合えば、心も通じ合うのである。自然は、いつ何が起るか分からない。これからも起こり続けるかもしれない自然災害に立ち向かっていくためにも、私たちは、みんなで協力し、支え合っていくべきではないだろうか、と私は考える。

笑顔、そして「ありがとう」



喜多方市立第三中学校
三年 眞壁 来海

ボランティア活動に参加する前まで、ずっと不安でした。どう接したら良いのか、どのようなことに気をつけたら良いのかなど全く分からず、班長としての責任もあつたため、私の胸の中には不安な気持ちで張り裂けそうでした。

ボランティア体験二日目。ドキドキしながら、職員の方や利用者の方々にあいさつをしました。最初は、緊張していましたが利用者の方々とたくさん話をしていくにつれ、どんどん楽しくなってきました。積極的に声をかけに行き、自分から話しかけることを意識しました。利用者の方々は、何度も何度も話しをくり返しますが、いつも楽しそうに自分の昔の話などを話してくれました。目が悪かったり、耳が聞こえなかったりする方もいらっしゃるのですが、一人一人に合った話し方や接し方をすることが大切だということを学びました。

ボランティア体験二日目は、緊張もなくなり利用者の方々と楽しく話すことができました。一日目と二日目で利用者の方が全く違うので、よりたくさんの方々と交流することができました。学校で練習してきたジェスチャーゲームをし、利用者の方々に楽しんでもらえて良かったです。

この二日間のボランティア活動に参加して、私は、「笑顔」の大切さについて学びました。二日目の利用者の方に、

「あなたは、ずっとニコニコしてるわね。あなたの笑顔、とっても素敵だよ。」

と、言ってくれた方がいました。私は、とてもうれしかったです。そして、職員の方が、「この仕事は、大変で辛い仕事です。でも、利用者の方の『ありがとう』があるから、がんばれる。だから、やりがいのある仕事です。」

とおっしゃっていました。私も、そう実感しました。そして、二日間の中で、たくさん「ありがとう」の言葉をかけていただいたことを思い出し、何だか温かい気持ちになりました。お茶のおかわりを聞いたときやご飯のお手伝いをしたときなど、どんな小さなことでも、「ありがとう」と言っていただけ、自然と笑顔になれたのだと思います。

福祉ボランティアは、私を成長させてくれました。これから先、高齢者の方と触れ合う機会がたくさんあります。自分にできることを見つけ、このボランティア活動で学んだたくさんの方々のことを思い出してがんばりたいと思います。

私は、将来人とながる職業に就きたいと考えています。今回、笑顔の大切さや「ありがとう」の重みなど、多くの方々と触れ合いの中から学んだことを、これからの自分の道で必ず生かしていきたいと強く思いました。たくさん「ありがとう」を思い出しながら。

福祉ボランティアに参加して



喜多方市立会北中学校
二年 小林 千夏

「ありがとう」ができました」

福祉ボランティアに参加したとき、ある一人のおばあちゃんが笑顔で言ってくれた言葉。私はその時、「参加してよかったな」と思った。現在、熱塩加納町には、九十人以上の一人暮らしのお年寄りの方がいるという。この福祉ボランティアは、そんなお年寄りの方の家にいき、草むしりや窓ふきなど、一人では難しい仕事をお手伝いするというボランティアだ。私は去年に引き続き、このボランティアに参加した。今回は、日中地区に住んでいる一人のおばあちゃんの家を手伝いに行った。家に着くと、玄関で私たちをとてもかわいらしい笑顔の小さなおばあちゃんが出迎えてくれた。おばあちゃんは、三匹の猫と一緒に暮らしているという。そんなおばあちゃんに頼まれた手伝いは、家の前と裏の草むしりだった。大きな草もあれば、小さな草もあり、ミニズもたくさんあった。おばあちゃんから借りたカマで、草をむしっては集めてを繰り返し返した。夏休みの暑い日だったが、日陰だったので、とても集中できた。仕事が終わると、おばあちゃんの家にあがらせてもらい、お茶とお菓子をいただいた。おばあちゃんの子供の話や、一緒に住んでいる猫の話など

をして、とても楽しい時間を過ごした。私たちが帰るとき、おばあちゃんは最後まで「ありがとう」ができました」

と言って、何度も頭を下げていた。ほんの少しの手伝いをしただけなのに、何度も頭を下げて感謝してくれたおばあちゃん。その姿が今でも心に残っている。

私は将来、看護師になろうと思っている。そのためにも、たくさんの方々の努力、コミュニケーション力、周囲の人を笑顔にする力など、いろいろな力が必要になってくると思う。私は先日、学校の職場体験学習で二日間介護老人保健施設に行き、介護士の仕事を体験した。そこには、たくさんのおじいちゃんやおばあちゃんがいた。そこで、エプロンたたみ、車いすの介助、お昼ご飯の補助などの仕事を体験していると、一人のおばあちゃんが「ありがとう」と、微笑みながら言ってくれた。少し手伝っただけでありがとうと笑顔で言ってくれたおばあちゃん。そのおかげで、自分が頼りにされていると感じることができて、すごく嬉しかった。そして、私も周りの人を自分の力で笑顔にできたらいなと思った。福祉ボランティアに参加して活動したことが、この職場体験学習にも生かすことができた気がした。

福祉ボランティアは、いろいろなことが学習できる。私は将来、看護師として周りの方々に笑顔を与えていきたいと思う。そのためにも来年も福祉ボランティアに参加したいと思っている。



喜多方
地区

デイサービスセンターにかわいい訪問者

12月7日・13日に第二こども園・第四こども園の子どもたちが来てくれました。男の子はカッコいい忍者や白虎隊士に、女の子は人気アニメのキャラクターの衣装でバッチリきめてお遊戯を披露し、利用者の皆さんは目を細めていました。

お遊戯の後は、職員が扮したサンタクロースが登場。子どもたちにお菓子のプレゼントをしました。子どもたちは近くで見るサンタクロースに興味津々。「サンタさんの好きな食べ物は何ですか?」とか「サンタさんは何歳ですか?」などなど、直球の質問攻めにサンタクロースもたじたじでした。

子どもたちの来訪に、デイルームは冬のあたたかい一日となりました。子ども園のみなさん、ありがとうございました。また来てくださいね!



熱塩加納
地区

世代間交流 子どもと親と じいちゃんばあちゃんと

熱塩加納町ふれあい福祉協議会では、町内の高齢者と、未就学児童・保護者との世代間交流会を開催しました。

参加者は、世間話をしたり、瓜生岩子刀自の紙芝居を見たり、祭り囃子保存会の皆さんによる演奏を聴いたりしながら交流しました。

子どもの笑い声とは良いもので、子どもたちがおもちゃで遊ぶ様子を高齢者の方々はうれしそうに見ていました。また、今回は中学生も参加し、高齢者の方から「どこのおにいちゃん?」などと話しかけられる場面も見られました。

昼食にはふれあい福祉協議会の会員の手打ちそばが振舞われ、みんなでおいしくいただきました。



塩川
地区

塩川町陶芸教室「目帰り研修」

塩川町陶芸教室では、毎年2回の研修旅行で、有名な陶芸窯めぐりを行い、会員同士の交流や技術の向上を図っています。秋の研修では田島万古焼「勝三窯」に行ってきました。窯元によって粘土や油薬が違うので、いろいろな作品が出来上がり陶芸の醍醐味を味わえます。

会員の皆さんは、優れた作品の技を持ち帰ろうと、熱心に見学されていました。





ふれあい

高郷地区

楽しい!! バルーンアート

たかさまち文化祭において、老人クラブによる世代間交流でバルーンアート教室を開催しました。

音楽に合わせてながら、あっという間に出来る上がるミッキーや空気銃などのバルーンアートに歓声があがりました。参加した子どもたちもウサギやお花作りを体験し、楽しい交流会となりました。



◀難しいながらもチャレンジしました



文化祭では様々な作品も展示されました▶



山都地区

デイサービスクリスマス会



12月20日のデイサービスクリスマス会は、鈴木民謡教室を主宰している鈴木忠男さんが

来訪され民謡を披露してくださいました。

鈴木さんは歌だけではなく、軽快な語り口でその場を盛り上げ、デイサービス利用者の皆さんも一緒に楽しく歌を歌いました。

その後は職員が扮したサンタクロースから利用者の皆さんへクリスマスプレゼントを贈り、楽しいひとときを過ごしました。

お知らせ

- INFORMATION -

募集中!

社会福祉協議会で企業広告を募集します!

社協だよりでは下記の広告スペースにより、年間4回発行の各号でPRする企業を募集いたします。詳しくは、社会福祉協議会総務企画係までお問い合わせください。

社協だより広告募集

- スペース: 91mm×55mm(名刺サイズ)
- 色 : カラー(場合によっては単色)
- 広告料: 1回 5,400円(税込み)

(原寸大)

陶芸教室会員募集のお知らせ

喜多方市社会福祉協議会の塩川支所・山都支所では、陶芸教室の会員を募集しております。

会員同士の楽しい交流と、世界に一つだけの作品づくり。新しい年、新しい生きがいづくりとして、陶芸をはじめませんか?

募集期間 平成30年2月1日～3月31日
(開講後、見学してからの入会も可)

開講期間 平成30年4月下旬～11月下旬

会員資格 概ね55歳以上で喜多方市在住の方



問合せ・申込み

喜多方市社会福祉協議会
塩川支所 ☎ 0241-27-3948
山都支所 ☎ 0241-38-3100



赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

御 礼

今年度も赤い羽根共同募金運動が10月1日より全国一斉に展開されております。

福島県共同募金会ではボランティア団体やNPO活動の支援のための「地域課題解決型募金」を3月31日まで引き続き展開しておりますが、本市におきましては、市民一人ひとりの善意や、関係各位の多大なるご協力を賜り、本年度の募金活動を無事に終了することができました。

皆様には、赤い羽根共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援にご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動へお寄せいただいた寄付金は、地域で援助を必要としている方への支援や、地域の社会福祉の増進のための活動等に役立てられます。

今後皆様様の善意を様々なかたちで、地域に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、自分の町を良くするしくみである共同募金運動への変わらぬご支援にご協力をよろしくお願いたします。

平成30年2月

喜多方市共同募金委員長
喜多方市社会福祉協議会長

武藤 顯夫



地 区	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
喜 多 方 地 区	4,502,680 円	1,752,558 円
熱 塩 加 納 地 区	438,775 円	544,281 円
塩 川 地 区	2,212,695 円	1,149,372 円
山 都 地 区	764,645 円	569,558 円
高 郷 地 区	367,151 円	277,000 円
合 計	8,285,946 円	4,292,769 円

“よらんしよネット”



元気を応援!!

喜多方市地域包括支援センターだより

あなたの街の
「喜多方市地域包括支援センター」

お気軽にご相談ください。

TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための拠点です。

市役所、介護サービス事業所、病院、警察署など関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

相談窓口
延長のお知らせ

地域包括支援センターの本所（喜多方市総合福祉センター内）では、第2・第4水曜日17:15～19:30まで相談窓口を延長して電話・来所相談を実施しています。どうぞお気軽にご相談ください。

2月の延長相談日 14日、28日

3月の延長相談日 14日、28日

冬の運動不足解消と認知症予防に デュアルタスク運動をしましょう!

デュアルタスク運動とは、身体を動かしながら頭も使う『ながら運動』です。脳を使いながら運動する（ふたつの事を同時に行う）事で、脳の血流量が増え脳の神経細胞が活性化されます。

【デュアルタスク運動の一例】

- 足踏みしながら、数を数えて3の倍数で手をたたく
- 踏み台昇降運動をしながら引き算する…等



地域包括支援センターでは今回紹介いたしましたデュアルタスク運動の他、様々な内容で介護予防教室を行っております。詳細は地域包括支援センターへお問い合わせください!

生活サポートセンターからのお知らせ

生活サポートセンターでは、仕事や生活などにお困りの方の相談をお受けしております。
ご相談は☎0241-23-3231 生活サポートセンターまで

教育支援資金
貸付のご案内

これから進学の時を迎えますが、福島県社会福祉協議会では、経済的に困りの方に生活福祉資金の『教育支援資金』をお貸ししており、現在、在学中の方も利用できます。生活サポートセンターはこの資金の貸付窓口となっておりますので、ご相談ください。



●ご利用いただける世帯

収入が一定基準以下（おおむね市民税非課税程度）で他からの融資を利用することが困難な世帯など。

貸付種類	対象経費	貸付限度額
教育支援費	◆就学に必要な経費 授業料、参考書、学用品、交通費(通学定期)、 賃貸アパート家賃など(食費、光熱費等は原則として貸付対象外となります)	高等学校 …月額 35,000円以内 高等専門学校 …月額 60,000円以内 短期大学 …月額 60,000円以内 大学 …月額 65,000円以内
	◆入学に際しに必要な経費 入学金、制服、教科書等入学時に一括で購入する経費	500,000円以内

※母子父子寡婦福祉資金、日本学生支援機構の奨学金、その他金融機関等からの貸付が利用できる場合は、その貸付が優先となります。

※低所得世帯の基準については、お問い合わせください。

ご相談・
お問い合わせ

本所 …………… TEL 0241-23-3231
塩川支所 …………… TEL 0241-27-3948
高郷支所 …………… TEL 0241-44-7111

熱塩加納支所 …………… TEL 0241-36-3112
山都支所 …………… TEL 0241-38-3100

子育てボランティア養成講座修了

今年度3講にわたり開催した子育てボランティア養成講座が終了し、全講座を受講された10名の皆さんに修了証を交付しました。講座では乳幼児の発育と発達についての基礎知識や心肺蘇生、AEDなどの救命講習、遊びの実技など子育て支援に必要な内容を楽しみながら学びました。

修了された皆さんは希望により本会子育てボランティア事業へ登録し、次年度から本会事業の「おもちゃ図書館」及び「児童館まつり」等で活動していただく予定です。

お知らせ 子育てボランティア事業登録者募集

本会では「おもちゃ図書館事業」「児童館まつり」等でボランティアとしてご活躍いただける「子育てボランティア事業登録者」を募集しています。

子どもの好きな方、育児経験のある方、子育て応援に参加してみたい方、子育てボランティアへの登録を受け付けておりますので、下記までお問合せください。

○登録申し込み・お問合せ先
喜多方市社会福祉協議会 福祉課地域福祉係
電話：0241-23-3231

「介護職員初任者研修」修了しました

4年目の取り組みとなる「介護職員初任者研修」を今年度も昼・夜間の2コースで行いました。

介護職員としての基礎知識や技術など131時間の講義・演習を受講し修了試験に合格された26名の方々に武藤会長から修了証を交付しました。

これから、一人でも多くの修了生が地域の介護や福祉の分野で活躍されることを願っています。



平成30年度も
「介護職員初任者研修」
を実施する予定です！



喜多方市社会福祉協議会

賛助会員に加入いただき ありがとうございました

賛助会員とは

社会福祉協議会事業推進の趣旨や目的に賛同し、地域福祉を推進する支援者の方々のごことです。

住みやすい地域づくりには、制度だけでは解決できない課題等もあり、皆様お一人おひとりの協力が不可欠です。

賛助会員は喜多方市社会福祉協議会の本所・支所で随時加入の受付をしております。是非皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

《個人》※敬称略

花見 幸子
須田 崇
佐々木 明

ありがとうございます



※社協だよりVol.45の中で10月15日まで御協力いただいた賛助会員の皆様につきまして御名前・団体名を掲載させていただきましたが、それ以降の12月31日までにご協力いただいた方々です。

介護ワンポイント講座

日常生活の中でリハビリテーション

食事や排泄、着替えなどの日常生活での基本的な動作が機能の低下を防ぎます。

こんなことにもリハビリ効果があります

おとしより自身が
できるように
応援を！

<家の中を移動する>
部屋に閉じこもってばかりでは気分も晴れません。できるだけ移動して、家族とふれあう機会をつくりましょう。



<リハビリ効果のある動作>



<使いやすい道具>

【参考】絵で見るゆうゆう介護 「寝たきり」を防いで自立する老後を 監修/鎌田ケイ子

お知らせ - INFORMATION -



平成29年度 在宅介護教室のご案内

在宅で介護をするって大変！でも介護保険サービスを上手に使えば住み慣れた自宅で、家族の負担を軽減しながら介護することができます。そんな在宅サービスを支えるホームヘルパーの仕事や、在宅介護にかかるお金の話などくわしくご説明します。どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。

日時	平成30年2月23日(金)13:30~15:30
会場	喜多方市総合福祉センター 会議室
参加対象	市民の方であればどなたでも参加できます <定員20名>
参加費	無料
申込み	2月20日(火)までに社会福祉協議会本所・支所に電話でお申し込みください 喜多方市社会福祉協議会本所…TEL23-3231 熱塩加納支所……………TEL36-3112 塩川支所……………TEL27-3948 山都支所……………TEL38-3100 高郷支所……………TEL0241-44-7111

内 容	
I	『在宅生活を支えるホームヘルパーのしごと』 ホームヘルパーがやれること、やれないこと。介護保険法のなかでの利用方法や料金。「こんなことはやってもらえるの?」という疑問に具体的にお答えします。
II	『介護にまつわるお金の話』 介護するにはどれくらいお金がかかるの?。負担を減らすために使える制度は? 介護を続けるために必要なお金や制度についてわかりやすくお話しします。
III	ティータイム(フリートーク) 在宅介護の疑問、苦勞話、これからの心配、先輩としてのアドバイスなど…なんでも気軽に話し合いましょう!~美味しいお菓子も用意します~

※この事業は各行政区よりご協力いただいている福祉活動支援金を活用しております

喜多方市高齢者生産活動センターのご案内

平成30年度 新会員の募集

募集期間	平成30年3月1日~ 随時受付	募集資格	市内在住者で60歳以上
募集人員	各グループ 10名程度	費用	年会費及び材料費
活動時間	10:00~15:00(基本)		

☆園芸グループ(毎週火・木曜日)
圃場や温室にて花木を栽培し、販売。

☆陶芸グループ
(週2回~1班は火・木曜日、2班は水・金曜日)
粘土で花器や茶碗、皿などを作陶販売。

☆押し花絵グループ(月3回程 金曜日)
乾燥花々の押し花で、しおりや額絵、プローチ、絵ローソクなどを製作販売。

☆菌茸グループ(春から秋の40日程度)
椎茸を、原木に菌打ち作業をして栽培し、生椎茸・乾燥スライス加工などにして販売。

☆手芸グループ(毎週火曜日)
吊るし雛・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作販売。

☆織物グループ(毎週木曜日)
卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バックなどを製作販売。

☆わら工芸グループ
(10月から12月を中心とした50日程度)
わらやすげを使って、しめ縄や玄関飾りなどを製作販売。

*現在7グループ、他に2つのサークルがあり会員在籍者142名で、グループでの生産活動のほか生産活動センターまつり(6月)、各種イベントへの出展販売や体験教室・グループ研修・交流会など、年間を通じて楽しく活動しています。

■会費等は各グループにより異なりますので、詳細については、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ・申し込み先
喜多方市高齢者生産活動センター
喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1 ☎0241-24-2297

送迎バス運行コース

行き センター(8:50発)~①北町公園~②コープ東店~③市立図書館~④喜多方駅~⑤諏方神社~⑥コメリ松山店~⑦JAよつば岩月店~⑧センター(9:35)
帰り センター(15:00発) 行きと逆コース
※曜日により多少コースが変更になることがあります。

センター展 体験教室のお知らせ

センター会員の作品展示・販売とあわせ、平成30年度入会を希望される方々に実際の活動を体験していただく機会を設けました。施設の見学や活動内容についてグループごとに対応いたしますので、センター展期間中に是非お越しください。

開催期間 平成30年3月13日(火)~16日(金)の4日間

場所 喜多方市高齢者生活活動センター施設内
(岩月町宮津字火付沢3567-1)

時間 10:00~15:00

市内送迎バス運行コース(詳細はお問い合わせください)

行き センター(8:50発)~北町公園~コープ東店~市立図書館~喜多方駅(9:03)~諏方神社~コメリ松山店~JAよつば岩月店~センター(9:35)

帰り センター(15:00発) 「行き」と逆コースで運行。

内容 作品展示および販売、体験教室

【展示・販売】期間中自由にお越しください。(織物は特別価格で販売)
【体験教室】10:00~15:00(生活活動センター内)

グループ名	体験料(材料代)	体験者受入人数/内容
陶芸	1,100円	毎回10名/皿・丼・花瓶など
手芸	600円	毎回5名/吊るし飾り(布)など
織物	700円	毎回5名/裂き織りのテーブルセンター
押し花絵	600円	毎回5名/プローチ作り
わら工芸	500円	毎回5名/輪毬、長毬籠

【体験申込】体験を希望される方は、下記まで事前にご連絡をお願いします。

【問い合わせ・申込先】

喜多方市高齢者生産活動センター ☎0241-24-2297



※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を活用させていただいております。

編集発行
社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会
〒966-0043 喜多方市宇上江364番地1
TEL 0241-23-3231 FAX 0241-23-3296

メールアドレス info@kitakata-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.kitakata-shakyo.or.jp/

●熱塩加納支所 TEL 0241-36-3112 FAX 0241-36-2776
●塩川支所 TEL 0241-27-3948 FAX 0241-27-3948
●山都支所 TEL 0241-38-3100 FAX 0241-38-3137
●高郷支所 TEL 0241-44-7111 FAX 0241-44-7112